|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *JAXA　PCG実験　簡易結晶化診断申込書* | | |
| 区分 | 項目 | 記入欄 |
| 申込タンパク質名称 | |  |
| 申込日 | | 西暦　　　年　　月　　日 |
| 申込者 | 所属機関 |  |
| 研究代表者名／役職 |  |
| E-mailアドレス |  |
| タンパク質  基本情報 | UniProt/refseq/GenBank Accession Number  もしくはアミノ酸配列 |  |
| 分子量 | 計算値：　　　　　　　　　　実測値： |
| 等電点 | 計算値：　　　　　　　　　　実測値： |
| タンパク質の区分 | 水溶性　／　膜結合型　／　膜貫通型 |
| ＊以下、可能な範囲で記載下さい。 | | |
| その他  追加情報 | 発現系 | 大腸菌　／　SF9　／　Pichia　/　Native 等 |
| 糖鎖修飾の有無 | （分かる範囲で記載下さい） |
| 精製一回分のタンパク質調製量 | （例：10 mg） |
| 当面の試料提供可能量 | （例：3 mg） |
| 精製ロット間の性状のばらつき | 有　／　無　または程度について記載下さい。 |
| 精製手順 | （例：破砕後、Ni精製をし、脱塩後、Hi TrapQカラムで陰イオン交換。濃縮後、Superdex 200でゲルろ過。濃縮し、最終精製標品とする。） |
| 濃縮方法 | （例：VIVASPIN 500 で5000xG、10min毎にピペッティングなど） |
| 結晶化用タンパク質溶液の組成 （送付予定の組成をご記入ください。） | （例：タンパク質10mg/mL、5mM Tris-HCl pH8、100mM NaCl、2mM DTT） |
| 溶液での保存性 | （保存期間による劣化等の知見があれば記載下さい） |
| 結晶化スクリーニングの有無 | これまでに申込タンパク質の結晶化スクリーニングを実施した経験があれば記載下さい。  （例：使用したスクリーニングキットやタンパク質濃度、溶解バッファー条件等） |
| 診断の主要目的 | 主に性状解析　　　主にスクリーニング |
| その他、特記事項 試料の取扱い等において留意する点などがあれば記載下さい。 | （例：濃縮行程で凝集しやすい、MgCl2 < 5mMで沈殿、基質等との混合が必要、など） |
| 次ページに続きます。 | | |

|  |  |
| --- | --- |
| SDS-PAGE | クロマトグラフィ |
| （SDS-PAGEの写真があれば添付下さい。  または別途送付下さい） | （クロマトグラムがあれば添付下さい。  または別途送付下さい） |
| Native PAGE |
| （Native PAGEの写真があれば添付下さい。  または別途送付下さい） |